

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

令和7年8月29日

計画の名称	2 北九州市の強靱化に資する道路ネットワークの整備 (防災・安全)			重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和3年度 ~ 令和6年度 (4年間)	交付対象	北九州市		
計画の目標					

災害時拠点への補完路や災害時にも地域の輸送を支える道路を整備し、都市の強靱化に資する道路ネットワークの整備を行う。

計画の成果目標 (定量的指標)

楠橋楠北1号線や中央町穴生線などの整備により、物流・人流を支える広域道路ネットワークを強化する。

定量的指標の定義及び算定式

災害拠点や主要幹線道路 (緊急輸送道路など) を結ぶ所要時間の短縮率
 所要時間短縮率 (%) = (当初の所要時間 - 評価時点の所要時間) / (当初の所要時間) × 100

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (R3d当初)	中間目標値 (R4d末)	最終目標値 (R6d末)	備考
0%		26%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,682 百万円	A	4,682 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---	-------	-----------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											R3	R4	R5	R6					
A-1	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(他) 楠橋楠北1号線	L=0.7km	北九州市	■	■				807		-	R5よりR9へ移行
A-2	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(2) 山手町藤木1号線	L=1.7km	北九州市	■	■				182		-	R5よりR9へ移行
A-3	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	中央町穴生線	L=2.0km	北九州市	■	■	■			332		-	
A-4	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	9号線 (高野工区)	L=1.2km	北九州市		■	■	■		693		-	R4よりR10へ移行
A-5	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	12号線 (浅川工区)	L=0.5km	北九州市		■	■	■		267		-	R4よりR30へ移行
A-6	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国) モノレール耐震化	橋梁耐震化	北九州市			■	■		1,460		-	
A-7	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(主) 恒見朽網線 (6号線) (吉田・恒見工)	L=4.8km	北九州市				■		835		-	R6よりR30へ移行
A-8	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(1) 中貫貫弥生が丘1号線	L=1.6km	北九州市				■		106		-	R6よりR30へ移行
合計																4,682			

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
									R3	R4	R5	R6							
合計																0			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R3	R4	R5	R6			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R3	R4	R5	R6			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	
配分額 (a)	391	464	315	723	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	391	464	315	723	
前年度からの繰越額 (d)	0	222	291	230	
支払済額 (e)	168	395	377	705	
翌年度繰越額 (f)	222	291	230	248	
うち未契約繰越額 (g)	209	173	139	147	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	53.4%	25.3%	22.9%	15.4%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	関係機関との 調整に不測の 日数を要した ため	関係機関との 調整に不測の 日数を要した ため	関係機関との 調整に不測の 日数を要した ため	関係機関との 調整に不測の 日数を要した ため	

社会資本整備総合交付金 事前評価チェックシート

(道路事業)

計画の名称: 2 北九州市の強靱化に資する道路ネットワークの整備(防災・安全)

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
整合を図っている上位計画名を記載。	北九州市道路整備中長期計画
2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
②目標の客観性・具体性・地域性	
1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○